



1 はじめに

本県にもコロナウイルスの拡大による緊急事態宣言が発令された関係で、生徒達も大変厳しい環境で学校生活を送っておりますが、本校生は、何事にも前向きに取り組み、校内は明るい声が聞こえる望ましい環境となっておりますので、ご安心ください。

令和3年が始まり、すでにひと月が経ちました。月日の経つのはとても早く、1・2年生も間もなく進級します。上級生になると進路について考える機会も多くなりますので、ご家族で話し合う時間をとっていただきますよう、お願い申し上げます。

2 大学入試と変化

初めての「大学入学共通テスト」が実施され、本校生も無事に受験を終えました。特に大きなトラブルはありませんでしたが、忘れ物などちょっとした不注意も見られました。今後は注意して欲しいところです。自己採点結果（速報）では、本校の成績は昨年の平均点を 20 点以上うわまわり、県内の各校よりも大幅に成績を伸ばしたと言えます。

すでに報道等でご存知だと思いますが、コロナの影響が大学入試にも表れてきており、宇都宮大学ほかで2次試験の中止が発表されました。さらに「試験時間の変更」や「面接のオンライン化」など予想外の変更が発表されるなど、受験生を悩ませています。平均点の差が大きかった教科・科目では、得点調整も行われているため、合格のボーダーラインが揺れ動き、指導が困難な状況も見られるようになっております。

保護者の皆様におかれましては、曖昧な情報に振り回されることなく、落ち着いてお子様とお話くださいますようお願い申し上げます。また、詳細については学校にお問い合わせください。出来るだけの情報をご提供できるよう努力して参ります。

今年の入試全般を概観して大きく変化した点としては、

- ① 出願の際に、「実績報告書」や「志望理由書」の提出を求める入試が増加したこと
- ② 英語の検定試験の結果を求める大学が増加したこと
- ③ 「主体的な取り組み」について、ネット出願時に書き込みを要求する大学が増加したことの3点が挙げられると思います。

基礎的な学力を問われることは自明のことですが、今年度からは高校生活の全般にわたって評価する方向性が示され、各大学ごとに特色ある判定が行われている様です。

次年度以降の入試のためにも、各自の日常生活の中で記録しておくべき実績や取り組み、振り返り等を書き留めておくことが、重要になってきていますので、是非ともご配慮いただきたいと思います。

3 3年生のこの時期

皆様ご存知のとおり、2月上旬から中旬が私立大学受験のピーク、2/25 が国公立大学の前期試験、3/8 が中期試験、3/12 が後期試験の予定です。例年通りの日程で発表されていますが、コロナ対応で特別日程をとる大学もありますのでご注意ください。

3年生にとっては、3年間の思いをぶつける大きなステージとなりますが、緊張や焦りもあることでしょう。しかし受験生の条件はみな同じです。誰もが緊張し、1日 24 時間もみな同じ条件です。今までの努力を信じて、最後の最後まで頑張り抜いて欲しいと願っています。

また、合否結果の報告や手続き上の相談などで登校することも多くなるかと思いますが、受験関係でお困りの際には、担任を通じて学校にご相談ください。

本校では、2/1 以降の特別時間割Ⅱになっても、各教科の補習授業や面接・小論文の指導を行っており、各生徒の必要に応じて、申し込んでもらうことになっております。保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

4 2年生のこの時期

3年生の最後まで戦う姿を見ながら、ヒシヒシと受験が近づいてきた事を感じ取っていく時期になりました。共通テストを自分で解いてみることも、良い刺激になることでしょう。また、先輩方からのアドバイスも貴重な情報となることでしょう。「まだ1年ある」というよりも「あと1年になった」と考えて欲しい。しかし、「あと1年しかない」という焦りは禁物です。

コース選択の時期となり、3年時の進路希望を「国公立型」にするか「私立型」にするかを決めていく時期となりました。そのためには、①大学入試の仕組みを理解し、②学部の特色を調べ、③大学の違いも理解しているというレベルに到達しておくことが求められます。もちろん志望大学の受験科目を知っておくことも重要です。学校の授業の中で、①～③ほかの内容について十分な指導を行って参りますが、全国には 1000 校以上の大学・短大がありますので、生徒の志望校のすべてについて学校が情報提供することは非常に困難です。各自が志望大学のホームページ等から情報を集め、自分自身で受験の準備をしていく必要があります。

また、中学校の時の受験準備を引きずって、簡単に受験できると考えている生徒も少なくありません。大学入試の学習量は、高校入試とは比べものになりません。3年生の夏から受験勉強を始めるというタイミングでは、間に合わないとお考えください。

従って2年生は、文武両道を実践するため、毎日のスケジュールを考える際に、「部活動にも学習にも」取り組めるように考え、計画的な生活スタイルを確立していくことが急務となります。

大学入試は、将来の生き方への第1段階であり、このステップの成功が、将来にも大きな影響力を持つことでしょう。悔いの無い高校生活が過ごせるよう、今から行動して欲しいと思います。保護者の皆様からも、アドバイスをお願い申し上げます。

5 1年生のこの時期

文理選択の時期となりました。「文型」「理型」の選択は、進路の大きな分岐点となります。1年生であっても、大学入試を理解しておかないと適切な選択はできません。近年の大学入試は、以前とは大きく変化しており、「総合型選抜入試」や「文理融合型入試」「文型（理型）一括入試」などが増加しております。そのような大学を受験する場合、文理選択はどうあるべきなのか。また、英語検定試験の結果を入試の英語の点数に反映すると定めている大学も増えてきました。国公立・私立に関わらず、大きな変化の時を迎えています。最新の情報に留意し、ご家族で話し合う時間を持ってください。

「とりあえず理型」という選択は高度経済成長期の進路選択時によく使われた言葉であり、現代には当てはまりにくくなりました。「大学で学んだこと＝職業」という単純な構図では無くなってきています。大学で身につける研究の方法・スキルをもとに働いていく時代です。

機械やA I に取って代わられる職業も多くなると予想されていますので、現在の職業を基準に考えることも大変難しくなってきています。様々な可能性を考えながら、お話し下さるようお願い申し上げます。

6 おわりに

情報氾濫の時代となり、必要な情報を選び、あいまいで不確実な情報に振り回されないことが重要になってきました。大学や入試方法等に関して不明な点や疑問点がある場合は、ぜひ遠慮なくご相談ください。生徒諸君の成功と将来の活躍を心から祈っております。保護者の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

進路指導部